

# 地域の労働環境共有 地協・労働基準監督署との意見交換会

「地域で働く仲間たちのサポート体制の強化」に向けて、地協役員と労働相談を受けている組織アドバイザーが参加し、8月から9月にかけて県内すべての労働基準監督署（前橋・高崎・桐生・太田・沼田・藤岡・中之条）との意見交換会を開催しました。

はじめに、連合群馬の労働相談の状況を説明した後、労基署から転倒災害や熱中症予防対策、外国人に関連する諸問題など、地域産業の特徴を踏まえた各署における労働災害の現状や、その対策としてどのような取り組みが行われているかなどの説明を受け、地域ごとの労働環境を共有しました。また、県内で労働災害が増加している現状に対し、安全衛生週間などを利用した各署長によるパトロールを全署に要請しました。



参加者からは活発な意見

## メンタルヘルスセミナー 安心ルーティーンを身に付けよう！

職場の中からメンタル不調者を出さない、また組合役員としてどのように対応すべきかを学ぶ場として、8月27日に42名が参加しメンタルヘルスセミナーを開催しました。

セミナーは「安心ルーティーンを身に付けよう」と題し、ライフサポートぐんまのカウンセラーである、ラポール企画の大小原利信氏を講師に招き、緊張感を解きほぐすところからスタートしました。そして、参加者でペアになり、一生懸命話を聞いてもらえる状況や話を無視される状況を体験した後、話の聴き方の大切さや、話を聞いてもらえない人がどのような心理状況になるかを体験し合いました。



ライフサポートぐんまのカウンセラーである、ラポール企画の大小原利信氏を講師に招き、緊張感を解きほぐすところからスタートしました。そして、参加者でペアになり、一生懸命話を

そして、普段から職場の仲間に気を配り、いつもと違う様子の時は声を掛ける。話を聴くときは、その人の言葉と気持ちを聴くようにするなど、味方になりきるコミュニケーションの取り方を学ぶとともに、日頃からのコミュニケーションがいかに重要かということ



共有しました。また参加者からは「普段意識をして聴いているつもりでも、やってはいけないことをしてしまっている」など、気づきの場にも繋がりました。



## 衆議院議員 宮崎タケシのマジメひとすじ

NO.7

今年の夏は、参院選、都知事選、納涼祭回り、お盆のあいさつ回りと息つく暇もない忙しさの中、あっという間に過ぎ去りました。さすがに少々疲労がたまっていますが、秋の臨時国会に向けて気合いを入れ直します！

参院選で私たちは、群馬選挙区に民進党公認の野党統一候補、堀越けいじん氏を擁立しました。連合群馬「支持」決定のもと、組合員の皆さんには多大なるご協力をいただき、ありがとうございました。

結果は25万票弱で、ダブルスコアの大敗。総合選対委員長として責任を痛感しています。しかし、前回3年前に比べると野党候補はプラス3万3千票、自民党候補はマイナス5万3千票。敗北とはいえ退潮に歯止めをかけ、再生への足がかりができました。

9月に召集される秋の臨時国会では「労働法制」が最大のテーマとなります。安倍総理は唐突に「働き方改革」と言い出し、担当大臣を置き、「長時間労働を是正し、同

一労働同一賃金を実現し、非正規という言葉がこの国から一掃する」と大見得を切りました。

しかし、安倍総理こそが労働者派遣法の改悪などで労働条件を悪化させ続けてきた張本人です。予定されている法案も、「残業代ゼロ法案」「解雇の金銭解決」など、労働者の権利を制限するものばかり。バラ色のキャッチフレーズに惑わされず、働く人たちの権利を守るため体を張って頑張ります！

9月には党员・サポーターの皆さんにも参加してもらい、民進党として初の代表選を行います。だれが当選するかは分かりませんが、民進党の「新しい顔」であり「総理候補」ともなる新しい代表に、ぜひご期待ください！



8/9産別地協代表者会議で挨拶